

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 49-12112

Laid-Open Date: February 1, 1974

Japanese Utility Model Application No. 47-52814

Filing Date : May 8, 1972

Inventor: Mitsuo Fukushi

Applicant: Mitsuo Fukushi

Gusset Bag Having Closure Metal Piece

A gusset bag 1 of the present design is formed of paper, plastics, etc. and has a piece of metal 3, 3' such as wire or ribbon provided as a closure along the opening edge 2 of one or both of the main faces and along the side edge 4 of both sides faces. After some article is put into this bag, the opening can be closed simply by folding the closure metal piece 3, 3' without using a paper seal, etc.

⑤日本分類
132 B 302

⑩日本国特許庁
公開実用新案公報

⑪実開昭49-12112

庁内整理番号 2119-38

⑫公開 昭49(1974). 2. 1

審査請求 有

⑬封かん口金を備えた包装袋

⑭実 願 昭47-52814
⑮出 願 昭47(1972)5月8日
⑯考 案 者 出願人と同じ
⑰出 願 人 福士三雄
川崎市川崎区四谷上町279
⑱代 理 人 弁理士 木脇不美男

⑲実用新案登録請求の範囲

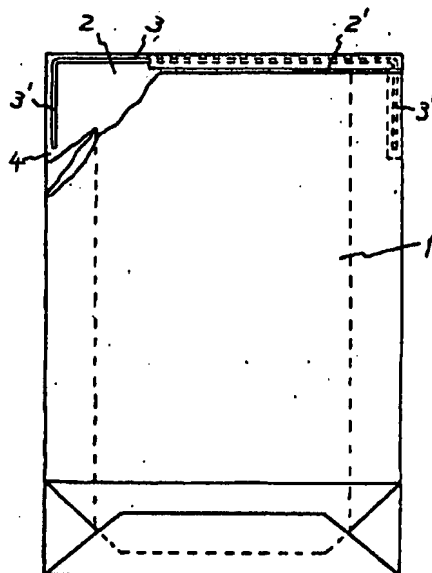
図面に示すように、紙、ビニール等によつて作

成した袋本体1の口部の一方または両方の縁2に沿うて横方向更には側縁4、4に沿うて針金またはリボン状の金属芯材3、3'を取りつけて成る封かん口金を備えた包装袋。

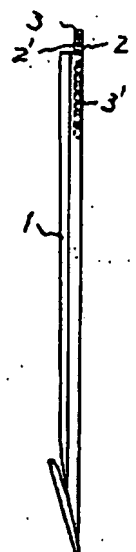
図面の簡単な説明

第1図は一部切欠正面図、第2図は側面図、第3図は平面図、第4図は開いた状態を示す一部切欠斜側面図、第5図は上縁を折り込んだ包装状態の斜側面図、第6図は縦に折り曲げ包装した斜側面図である。1……袋本体、2……袋の縁、2'……折曲縁、3、3'……金属芯材、4……袋の両側縁。

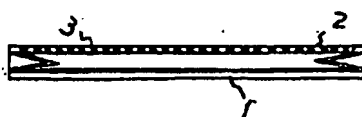
第1図



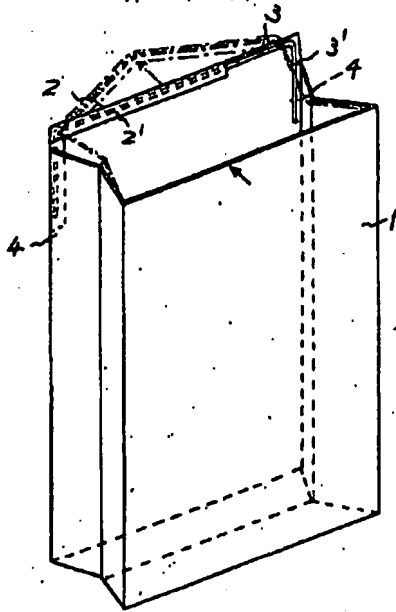
第2図



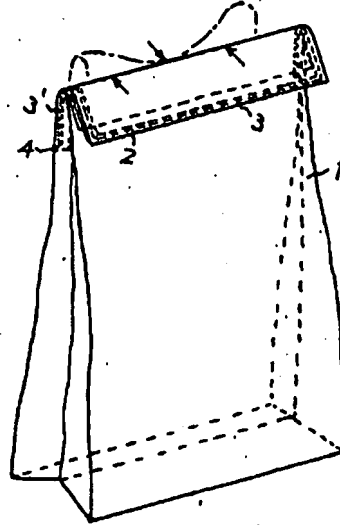
第3図



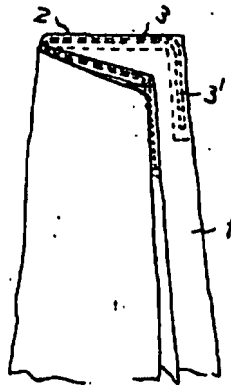
* 4 図



* 5 図



* 6 図





実用新案登録

昭和47年5月8日

特許庁長官 井 十 武 久 殿

1. 考案の名称 かん口金を備えた包装袋
封かん口金を備えた包装袋
2. 考 案 者
実用新案登録出願人と同じ
3. 実用新案登録出願人

神奈川県川崎市川崎区四谷上町279番地
福 士 三 雄

4. 代 理 人
郵便番号 1 5 2
東京都目黒区麻布2丁目9番2号
(5927) 井理士 木 脇 不 美 男

5. 添付書類の目録

- | | |
|-------------|-----|
| (1)、明 細 書 | 1 通 |
| (2)、図 面 | 1 通 |
| (3)、タ 任 状 | 1 通 |
| (4)、願 書 副 本 | 1 通 |
| (5)、出願審査請求書 | 1 通 |



47 052814

49-12112-01

明 細 書

1 考案の名称 封かん口金を備えた包装袋

2 実用新案登録請求の範囲

図面に示すように、紙、ビニール等によって作成した袋本体(1)の口部の一方または両方の縁(2)に沿うて横方向更には縦縁(4)、(4)に沿うて針金またはリボン状の金属芯材(3)、(3)を取りつけて成る封かん口金を備えた包装袋。

3 考案の詳細な説明

この考案は、紙またはビニール等より成る袋の口部に、針金またはリボン状の軟かな金属芯材を、その縁に沿うて横方向更には縦縁に亘って取りつけたもので、品物を入れて口部を閉じた後これを折り曲げるだけで、封かん紙等を貼りつけることなく完全に閉さすようにした包装袋に関するものであって、その構造を図面について説明すれば、(1)は紙またはビニール等によって作成した袋本体にして、その口部の例えば一縁(2)に、針金のような軟かな金属芯材(3)を横

に沿わせてその上から線(2)の折曲線(2')によって貼りつけたものである。而してこの金属芯材(3)は、口部の上縁に平行して取りつけたものであるが、図示したように、その両端(3', 3')を袋の両側縁(4)(4)に沿うて折り曲げて本体に貼りつけ或いは別個に取りつけることもできる。

以上のように構成したこの包装袋は、その口部を指先で開く際、口部の縁に金属材が取り付けられてあるために、第4図実線にて示すように正しく開口されるばかりでなく、その中央を指先で外向に軽く折り曲げることによって、鎖線にて示すように口を広く開いたまま保持されるので品物が入れ易くなる。次いでその口部を矢印のように閉じてから第5図に示すように上部を折り曲げれば、金属芯材(3)の両側縁(3', 3')も折り曲げられるので袋の口部は閉じられる。またこれを矢印のように指先で握ぎれば中央が折り曲げられて完全に封かんされる。従って従来の袋のように、口部が開くのを防ぐために封かん紙等を施す必要がなく、極めて簡単にかつ早く包装することができる。し

かも折曲部は芯材のために丈夫で、これを指掛として握手に利用することができる。また、この口部を第5図に示すように折り込まないで、第6図に示すように縦に折り曲げるだけでも十分に包装ができる。勿論第5図に示すように折り込んだものを更に縦に折り曲げる等色々と折り込み包装することができる。またこの金属芯材は、上記したように、袋の上縁に沿うて横に或いは側縁に沿うて縦に取りつける以外に、中央に縦に取りつける等によっても同様の効果を奏することができる。

以上のように、この考案によれば、袋の口部を開く際に、金属芯材のために正しく開かれ、また外向に軽く曲げることによって口部を広く開くことができるので品物が入れ易いばかりでなく、閉じた後上縁を折り込みまたはそのまゝ折り曲げるだけで、みだりに開かないように包装することができる。しかも芯材のために握り易い等実用上の効果がある。

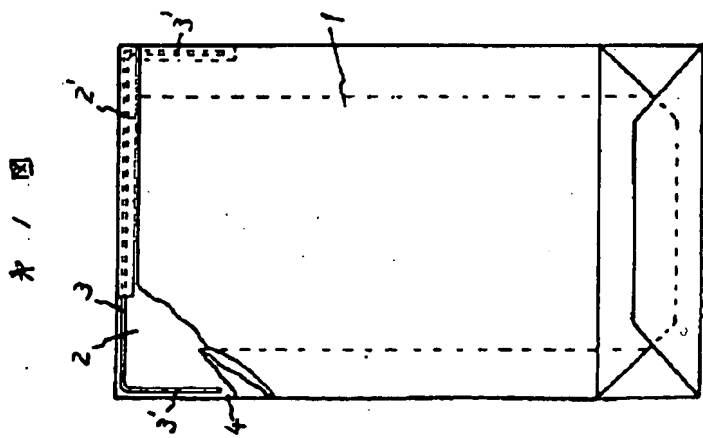
4. 図面の簡単な説明

第1図は一部切欠正面図、第2図は側面図、第3図は平面図、第4図は開いた状態を示す一部切欠斜面図、第5図は上縁を折り込んだ包装状態の斜面図、第6図は縫に折り曲げ包装した斜面図である。

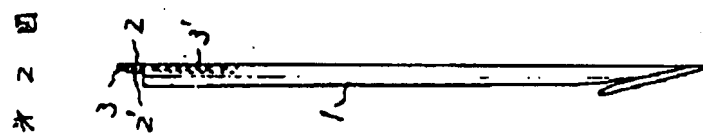
(1)・・・袋本体、(2)・・・袋の縁、(2')・・・折曲線、
(3)、(3')・・・金属芯材、(4)・・・袋の両側縁。

実用新案登録出願人 福 士 三 雄

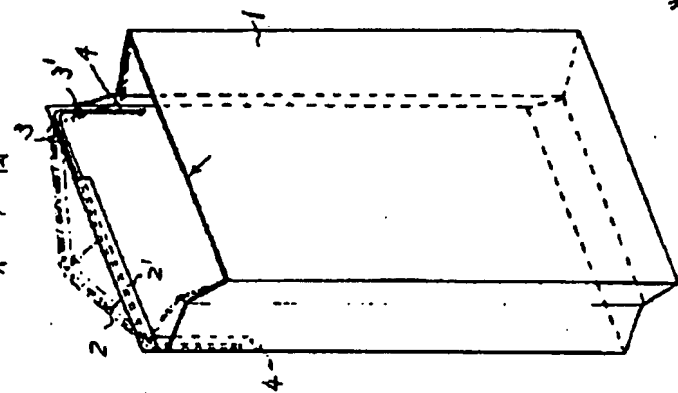
代 理 人 木 脇 不 幸 男



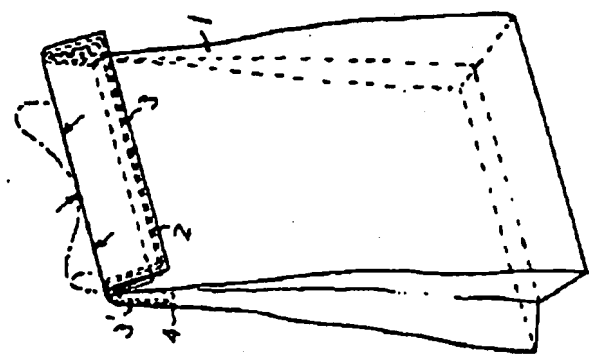
第 1 図



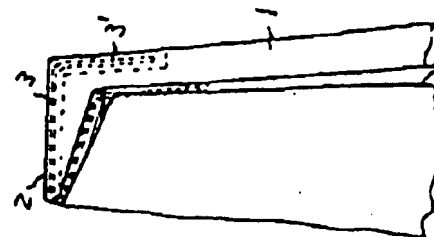
第 2 図



第 4 図

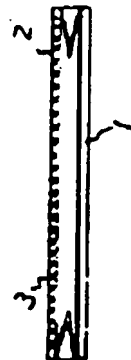


第 5 図



第 6 図

第 3 図



49-12112-06